



訪問ガイド 2026

ヴィランドリー城

ヴィランドリー ー から 8.50€

<https://chateauvillandryvisit-tickets.com/ja/> ー 優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

ルネサンス最後の宮殿の物語

GOOGLE **4.7** ★★★★★ 20 641レビュー

TIQETS **4.78** ★★★★★ 12レビュー

ヴィランドリー城は、フランスの第一次ルネサンスが終わりを告げる16世紀に建造された最後の大きな宮殿として知られています。元々は「コロンビエール」と呼ばれた中世の砦だったこの地は、1532年に財務省書記官ジャン・プレトンによって買収され、モダンな建築様式へと大改造されました。この建造物は、アンシー＝レ＝フランやエクーエンなどの後の作品を予感させながら、当時の建築的探求に最終的な仕上げを加えた象徴的な存在です。

しかし、現在の庭園が持つ驚くべき美しさは、実は20世紀初頭の奇跡的な再建によるものです。18世紀には姿を消していた庭園を、ヨアヒム・カルヴァロ博士が1906年から忠実に再現し始めました。彼はジャック・アンドルー・デュ・セルコーが残した古い版画や設計図を何年にもわたって研究し、荒地だった敷地を植物学の傑作へと変えていきました。この作業は単なる復元ではなく、ルネサンス期の精神を現代に蘇らせる芸術的な挑戦でした。

城と庭園全体は1927年に歴史的記念物の目録に登録され、1934年には正式に指定されました。これは、現在ユネスコの世界遺産であるロワール渓谷の一部となっているこのサイトの例外的な文化的価値を認めるものでした。6ヘクタール以上の広大な敷地は、4つのテラスレベルに配置され、訪問者が16世紀の庭園芸術に完全に浸ることができるように設計されています。その規模と精密さは、ルネサンス期の庭園としては異例のものとなっています。

隠された水工学もまた、この場所の歴史において重要な役割を果たしています。幾何学的な花壇の下には、噴水を供給する複雑な配管とポンプのネットワークが広がっています。カルヴァロ博士は、ルネサンスの建築家が望んだ数学的な精度で水が湧き出るよう、この目に見えないシステムを再発明する必要がありました。これにより、地面は場所の美学にとって不可欠だが控えめな水力機械へと変貌し、今日私たちが目にする完璧な調和を生み出しています。

体験

ゲートをくぐった瞬間、訪れる者は時間の流れから切り離されたような静寂と美しさに包まれます。朝日が花壇の幾何学的な形に柔らかな光を投げかけ、鮮やかな色彩が視界いっぱいに広がります。石畳の小道を歩くと、足元に伝わる歴史の重みを感じつつ、眼前にはルネサンス期の理想が具現化された空間が広がっています。風がボックスウッドの葉を揺らし、遠くから聞こえる水の音は、この場所が活着していることを教えてくれます。

城内に入ると、古家具が置かれた部屋での温かい雰囲気が心を落ち着かせます。自然光が窓から差し込み、作品や装飾品の細部まで美しく照らし出します。詩的な雰囲気の中で、訪れる者は単なる観光客ではなく、歴史の一部を体験する参加者になります。各季節が庭園を変え、春の華やかさから冬の厳格な構造まで、訪れるたびに新たな発見があるのがこの場所の魅力です。



訪問の準備

実用的な情報

住所

ヴィランドリー・アンドル＝エ＝ロワール県(37)。A10高速道路トゥールズ西出口からD910経由でアクセス可能。敷地内に無料駐車場あり。

営業時間

4月から10月まで毎日開園。オフシーズン（11月～3月）の一部の日は閉園しています。訪問前に正確な営業時間を確認してください。

料金

6歳未満の子供は無料。団体や学校向け割引料金あり。入場を確保するためにオンラインで予約してください。

所要時間

6つの庭園をゆっくり探検し、城内を急がずに見学するには2時間半から3時間ご予定ください。建築と造園の美しさをお楽しみください。

写真撮影

庭園と城内での写真撮影は許可されていますが、作品や家具を保護するため室内ではフラッシュ使用禁止です。ルールを遵守してください。

対象客層

植物学と歴史愛好家にとって理想的な施設。家族連れにも適しており教育的な散策を楽しめますが、注意：これは遊園地ではありません。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

 地下鉄

トゥール＝ヴァル・ド・ロワール空港 (49 min)・サヴォニエール (14 min)

 バス

: ヴィランリ・センター – 4 min à pied

トゥール＝ヴァル・ド・ロワール空港 (80 min)・サヴォニエール (21 min)

 自動車

トゥール＝ヴァル・ド・ロワール空港 (63 min)・サヴォニエール (14 min)

 バイク

トゥール＝ヴァル・ド・ロワール空港 (86 min)・サヴォニエール (17 min)

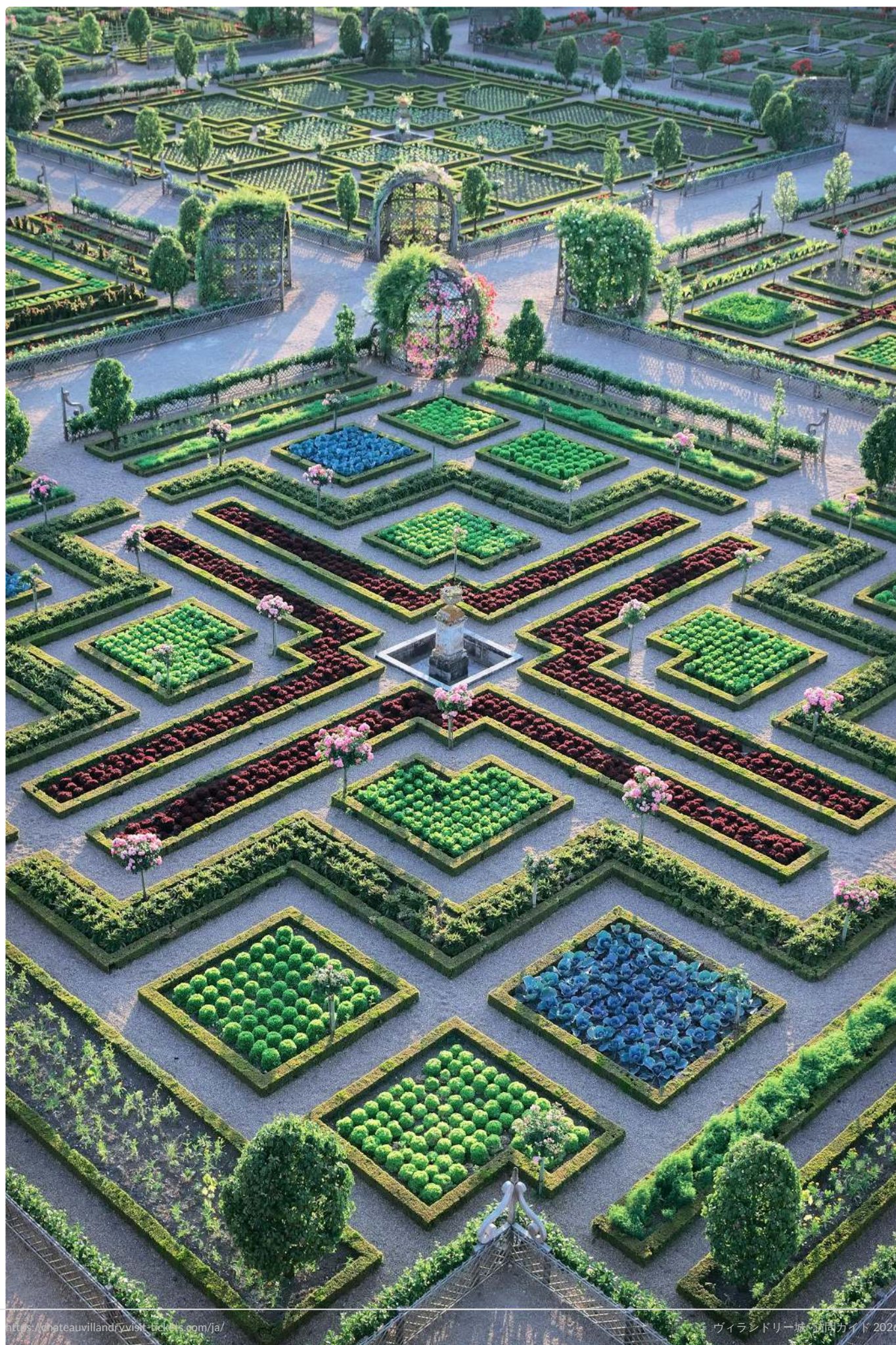
LOCALISATION

Où se trouve ヴィランドリー城？



📍 3 Rue Principale — 37510 ヴィランドリー

🌐 47°20.391' N, 0°30.859' E



組 織

6つの庭園を巡る旅

下部テラス（野菜畑と果樹園）

最も低いレベルにあるこのエリアは、実用的な美しさを誇ります。幾何学的に配置された野菜畑は、食用だけでなく観賞用としても機能し、季節ごとに色とりどりの作物が植えられています。果樹園では、伝統的な品種の木々が整然と並び、収穫時期には甘い香りが漂います。ここは、ルネサンス期の庭園が単なる装飾ではなく、生活の一部であったことを示す教育的な空間です。

中央テラス（愛の庭と刺繍の庭）

城の正面に広がる主要なテラスには、有名な愛の庭と刺繍の庭があります。愛の庭では、バラや低木で作られた心臓や矢などのモチーフが、ルネサンス期の恋愛観を表現しています。刺繍の庭は、繊細な植物のパターンがタペストリのように見え、近接して鑑賞するとその精巧さが際立ちます。これらの庭園は、視覚的な美しさだけでなく、象徴的な意味も深く持っています。

上部テラス（幾何学模様庭とパノラマビュー）

最高位のテラスには、純粋な幾何学模様が特徴的な庭園が広がります。ボックスウッドで作られた複雑なパターンは、遠くからでもその対称性と秩序美を楽しむことができます。ここからの眺めは圧巻で、ロワール渓谷の広大な風景が一望できます。特に夕暮れ時、空の色が変わりながら庭園の影が伸びる様子は見応えがあります。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

平坦な通路を通じた庭園への部分的アクセス；城内については確認をお勧めします。

ファミリー向け

家族向け教育施設ですが、アクティブな遊園地として設計されていません。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



選 択

絶対に外せない見どころ

01

中央テラス

愛の庭

ヴィランドリー城の象徴であるこの庭園は、バラと低木で作られた心臓、矢、盾などのモチーフで構成されています。ルネサンス期の恋愛詩や神話にインスピレーションを得たデザインは、視覚的に魅力的だけでなく、深い象徴性を持っています。各要素は丁寧に剪定され、季節を通じて美しい形を保ち続けています。

💡 この庭のデザインは、ジョアキム・カルヴァロが16世紀の版画から直接インスピレーションを得て再構築したもので、オリジナルの意図を忠実に反映しています。

02

中央テラス

刺繍の庭

名前が示す通り、この庭園はまるで巨大なタペストリのように見えます。繊細な植物パターンが織りなす幾何学的デザインは、近接して鑑賞するとその精巧さが際立ちます。異なる種類の低木や草花が組み合わさり、色と質感の微妙なコントラストを生み出しています。

💡 刺繍の庭のメンテナンスには、年間を通じて専門的な剪定技術が必要で、数ヶ月の計画に基づいて行われています。

03

上部テラス

幾何学模様庭

純粹な幾何学美を追求したこの庭園は、ボックスウッドで作られた複雑なパターンが特徴です。対称性と秩序が重視され、遠くからでもその完璧なバランスを楽しむことができます。ルネサンス期の数学的アプローチが庭園設計にどのように適用されたかを示す優れた例です。

💡 この庭の幾何学模様は、ジャック・アンドルー・デュ・セルコーの設計図に基づいて再構築され、オリジナルの意図を忠実に再現しています。

04

下部テラス

野菜畑

実用的な美しさを兼ね備えたこのエリアは、幾何学的に配置された野菜畑で構成されています。食用だけでなく観賞用としても機能し、季節ごとに色とりどりの作物が植えられています。ルネサンス期の庭園が単なる装飾ではなく、生活の一部であったことを示す教育的な空間です。

💡 野菜畑では、伝統的な品種のみが栽培されており、現代の農業技術とは異なる方法で管理されています。

05

全域

噴水システム

目には見えないが、庭園の美しさを支える重要な要素です。複雑な配管とポンプのネットワークが、噴水を供給し、水が数学的な精度で湧き出るように設計されています。このシステムは、ルネサンスの建築家が望んだ水力機械の完璧な再現です。

💡 噴水システムの再構築には、数年の研究が必要で、カルヴァロ博士が独自に開発した技術が使われています。

06

城内

中世のドンジョン

現在の城に組み込まれている中世の砦の残骸です。シンボリックに保存されたこの塔は、ヴィランドリーの長い歴史を物語っています。12世紀の建築様式がそのまま残り、城の進化過程を理解する上で重要な手がかりとなります。

💡 このドンジョンは、**1189年**の和平交渉が行われた場所としても知られており、歴史的意義が深いです。

07

出口付近

公式ショップ

訪問の思い出として意味のある品を持ち帰る絶好の機会です。オリジナルの設計図の複製や、庭園の歴史に関する本、限定グッズが揃っています。サイトの知識を深めるための詳細ガイドも見つけることができ、購入後にさらに理解が深まります。

💡 ショップでは、限定版のガイドブックが販売されており、一般公開されていない情報も含まれています。

08

上部テラス

テラスからのパノラマビュー

最高位のテラスからの眺めは圧巻です。ロワール渓谷の広大な風景が一望でき、特に夕暮れ時の空の色の変化は息を呑む美しさです。庭園の幾何学的なパターンが遠景と調和し、視覚的なハーモニーを生み出しています。

💡 このビューは、写真愛好家に特に人気で、ポートフォリオ作成に最適なスポットとして知られています。

アドバイス

完璧な訪問のためのヒント

TIMING

混雑せずに庭園を撮影するには、特に夏には開園時に到着しましょう。朝の光は花の色や花壇の幾何学的な形を引き立てます。

PARCOURS

6つの庭園をゆっくり探検し、城内を急がずに見学するには2時間半から3時間ご予定ください。上部のテラスから始めて、徐々に下っていくと疲労感が軽減されます。

PAUSE

見学後には、地元の食材を使った洗練された料理を提供するクロ・デ・ティユーでランチを楽しみましょう。上品な休憩が、訪問の記憶をより特別なものにします。

AUDIOGUIDE

フランス語、英語、スペイン語のオーディオガイドが利用可能です。ヨアヒム・カルヴァロの仕事による歴史的忠実性を理解するために、説明パネルを読む時間を取ることも重要です。

BILLET

入場を確保するためにオンラインで予約してください。ハイシーズン（4月～10月）や週末は特に必要で、窓口での待ち時間を避けられます。

PHOTO

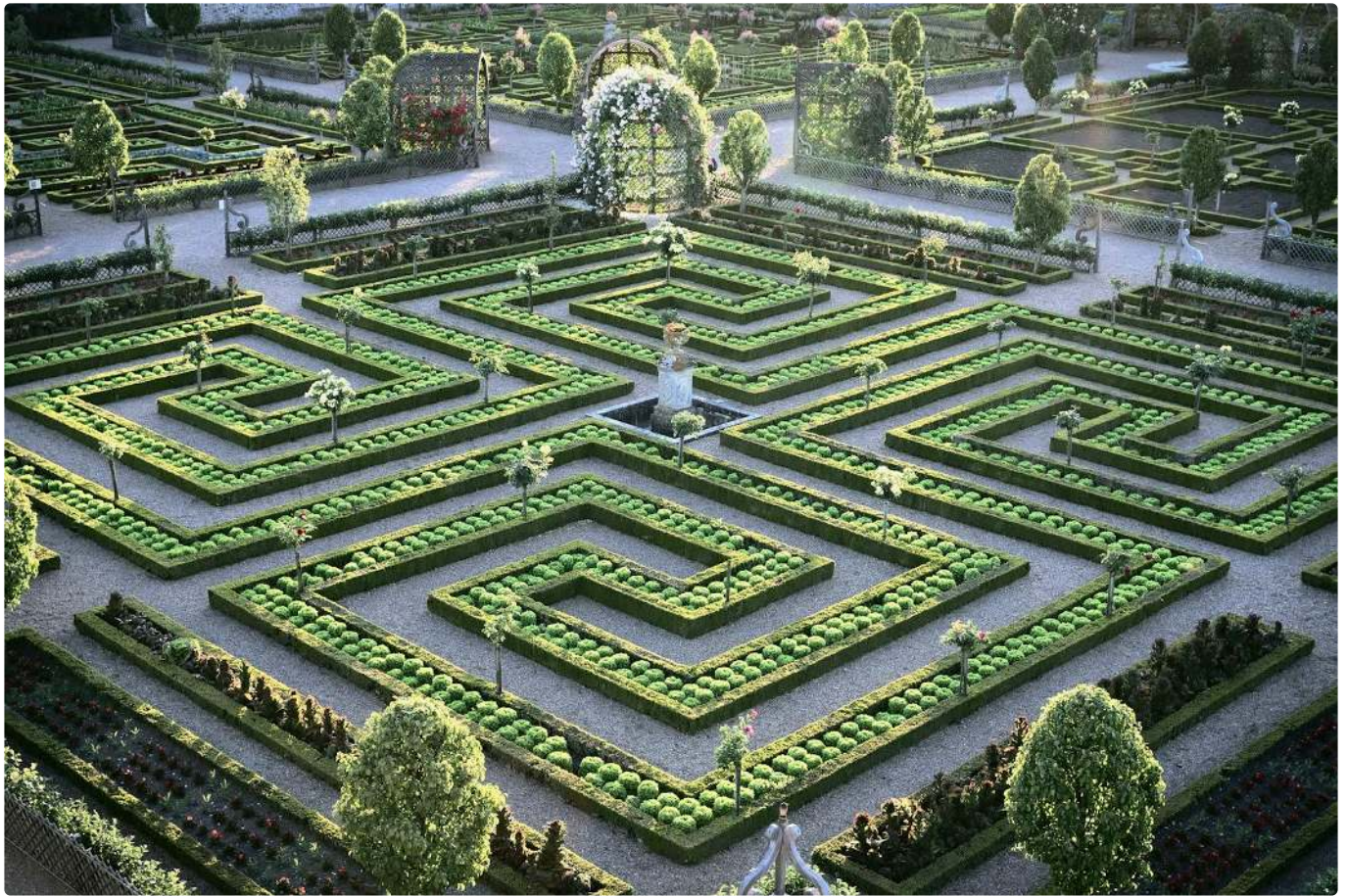
城内ではフラッシュ使用禁止です。自然光を活用して、家具が置かれた部屋での温かい雰囲気を捉えましょう。三脚を使用する場合は、事前に条件を確認してください。

ENFANTS

家族連れにも適しており教育的な散策を楽しめますが、注意：これは遊園地ではありません。子供たちに植物学と歴史について教える良い機会ですが、適切な靴を用意し、長時間の歩行に備えてください。

CONFORT

6ヘクタールの敷地には石畳の小道と緩やかな斜面があり、快適さが鍵となります。長距離歩行に適した靴を用意し、特にテラスのすべてのレベルを探索する予定の場合は重要です。



よくある質問

よくある質問

ヴィランドリー城の入場券は予約する必要がありますか？

はい、オンライン予約は強く推奨されます。特にハイシーズン（4月～10月）や週末。これにより窓口での待ち時間を避け、敷地が満員の場合でも入場を保証できます。通常、前日まで無料でキャンセル可能です。

現地で購入できますか？

Il est possible d'acheter des billets au guichet si les capacités le permettent, mais cela implique souvent une attente significative. En période de forte affluence, le site peut être saturé et l'accès refusé sans billet

Y a-t-il des tarifs réduits ?

Des tarifs préférentiels existent pour les enfants, les jeunes de 18 à 25 ans, les seniors et les titulaires de cartes culture. Les groupes bénéficient également de réductions spécifiques sur présentation d'une attestati

Le billet inclut-il uniquement les jardins ?

Non, le billet standard donne accès à la fois au château et aux jardins. Ces deux espaces forment un ensemble indissociable historiquement et esthétiquement depuis la reconstitution par Joachim Carvallo. Il n'est général

Quels sont les horaires d'ouverture des jardins ?

Les horaires varient selon les saisons : ouverture plus tardive en hiver et fermeture plus précoce en fin de journée. De avril à octobre, les jardins sont ouverts tous les jours. En basse saison, fermetures possibles cer

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

失われた庭園の再生

現在の庭園は、1906年にヨアヒム・カルヴァロ博士によって忠実に再現されたものです。彼は18世紀に姿を消した庭園を再建するために、ジャック・アンドルー・デュ・セルコーの古い版画の研究に数年を費やし、荒地を植物学の傑作へと変えました。

ロワール川最後の宮殿

ヴィランドリー城は、16世紀にロワール川沿いに建造された最後の大きな城と見なされています。この建造物はフランスの第一次ルネサンスの終わりを象徴し、アンシー＝レ＝フランやエクーエンの後の作品を予感させるものとなっています。

コロンビエールからヴィランドリーへ

私たちが知るルネサンスの宝石となる以前、この地は当初「コロンビエール」という中世の砦でした。現在の城は、16世紀にロワール川の岸辺に建てられた最後の大きな宮殿であり、フランスの第一次ルネサンスの終わりを示しています。

隠れた水工学

幾何学的な花壇の下には、噴水を供給する複雑な配管とポンプのネットワークが広がっています。カルヴァロ博士は、ルネサンスの建築家が望んだ数学的な精度で水が湧き出るよう、この目に見えないシステムを再発明する必要がありました。これにより、地面は水力機械へと変貌しました。

博物館周辺

ヴィランドリー城の周辺には、訪問をさらに豊かにする魅力的なスポットが点在しています。まず、サン＝マルタン教会を訪れましょう。12世紀の旧城塞礼拝堂であり、鐘楼からは城への素晴らしい眺望が楽しめます。昼食には、地元の食材を使った洗練された料理を提供するクロ・デ・ティユーがおすすめです。見学後の上品なランチを楽しみながら、トゥーレーヌの味覚を堪能できます。その後、トゥール市に戻り、グロリエット公園でロワール川沿いを静かに散策すれば、一日の疲れも癒されます。文化的な興味があれば、古代から20世紀までの豊富なコレクションを持つトゥール美術館も必見です。



ヴィランドリー城への訪問は、単なる観光ではなく、魂の休息となる経験です。6ヘクタールの庭園を歩き、歴史のパネルを読み、静かなテラスで時間を過ごすことで、あなたはルネサンス期の美意識に触れられます。この場所は、季節ごとに異なる顔を見せ、何度訪れても新しい感動をもたらします。ぜひ一度、この魔法のような空間を自分の目で確かめてください。